

資源ごみの混入 (一例)



分別にご協力ください

市内のごみステーションからピックアップしたもやせるごみの中には、資源になるごみが多く混入していました。

大田原市のもやせるごみは、平成26年度から約400トン増加し、年間約8億3千万円のごみ処理費用がかかっています。

このままごみが減らない状況が続くと、ごみの有料化制度(※)の導入を検討しなければなりません。



! 雑がみは束ねてごみステーションに出せます。細かい切れ端は雑誌に挟んで束ねて出すか、紙袋(金属は取り除く)に入れて十字に縛って出すことができます。

(※)ごみの有料化とは、ごみ処理費用の一部をごみ袋に転嫁し、ごみ処理費用を賄うものです。ごみ処理の有料化が導入された場合、ごみ袋の価格は、今の2倍(45ℓ1ロール500円前後)になる可能性があります。



食品ロス (一例)

食品ロスを見直しましょう

まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物「食品ロス」が多く見られました。

食品ロスは日本で年間約600万トン発生しており、一人当たり一日茶碗一杯分のご飯の量を廃棄しています。

買いすぎない、食べる分だけ調理する、保存方法を工夫するなど、ちょっとした心がけが食品ロス削減に繋がります。ご協力をお願いします。

